

付着生物(ユウレイボヤ等) ラーバ情報

平成27年12月13日～12月16日に陸奥湾5定点で付着生物(ユウレイボヤ等) ラーバ調査を行ったので、その結果をお知らせします。

1 ラーバの出現数

ユウレイボヤラーバの出現数の推移は図1、表1のとおりで、久栗坂沖で12/15に1.1個/トン、川内沖で12/15に3.1個/トンで、他の3地点では見られませんでした。

オベリア類(通称クサ)のクラゲの出現数の推移は図2、表1のとおりで、久栗坂沖で12/15に2.2個/トン、野辺地沖で12/13に3.1個/トン、川内沖で12/15に4.7個/トンで、他の2地点では見られませんでした。

キヌマトイガイ(表1)、ネンエキボヤのラーバは見られませんでした。

なお、マボヤラーバが4地点で見られており、天然採苗されている漁業者の方々の参考として、今回も表1に追加しています。

2 水温の状況

各ブイの12月21日の平均水温は、表2のとおりです。

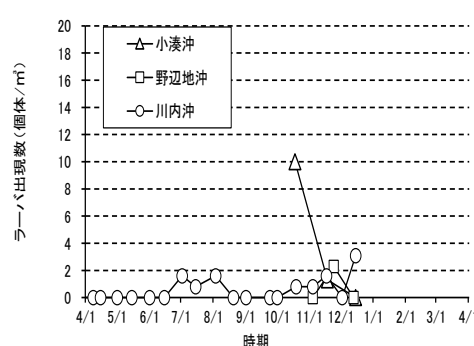
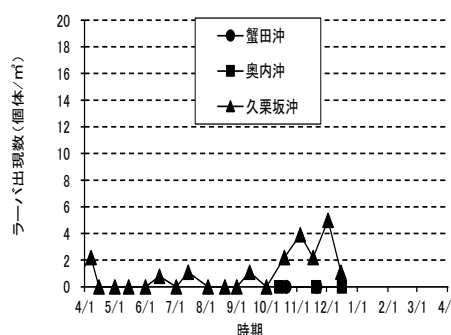


図1 ユウレイボヤラーバ出現数の推移(4～9月は久栗坂・川内のみ)

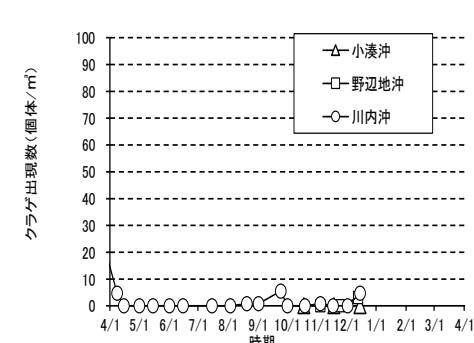
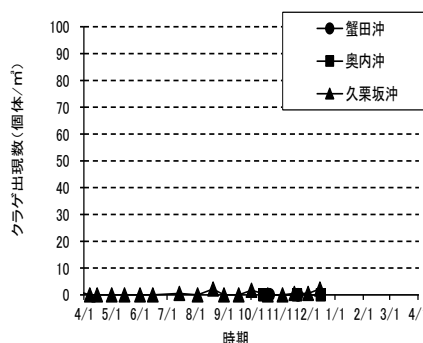


図2 オベリア類のクラゲ出現数の推移(4～9月は久栗坂・川内のみ)

表1 ラーバ等の出現状況

調査地点	調査月日	ユウレイボヤ	オベリア類	キヌマトイガイ	マボヤ
奥内沖	H27.12.16	0.0	0.0	0.0	0.8
久栗坂沖	H27.12.15	1.1	2.2	0.0	0.0
小湊沖	H27.12.15	0.0	0.0	0.0	1.7
野辺地沖	H27.12.13	0.0	3.1	0.0	2.3
川内沖	H27.12.15	3.1	4.7	0.0	10.9

※久栗坂・川内沖は実験漁場内

表2 各ブイの中層における日平均水温(12/21)

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	12.4	東湾ブイ	10.1
奥内ブイ	11.5	浜奥内ブイ	8.5
青森ブイ	11.7		

※奥内、浜奥内は10m層、他は15m層

3 今後の見込み

ユウレイボヤのラーバの出現数はやや減少傾向にあり、今のところ西湾の出現数は、昨年同時期に比べて少なめです。久栗坂沖に11/17～12/15の間垂下したパームロープに小型(3～4mm)のユウレイボヤの付着が確認され(写真1)、これから成長していくものと思われます。

ネンエキボヤも今後、ラーバが付着して出来たコロニー(群体)が無性生殖(「株分かれ」のように増える)で増加していくものと思われます。

また、オベリア(クサ)の付着はまだ見られていませんが、数は少ないものの東湾でクラゲの出現数がやや増加してきており、春先に付着被害を及ぼす大型のオベリアは、年明け以降にかけて付着していくものと考えられます。

キヌマトイガイ(コメガキ)は、年明け以降にラーバが出現すると思われます。

今後のラーバ等の出現動向については、次回(1月上旬発行予定)の情報を参考にしてください。



写真1 11/17～12/15の間に付着したユウレイボヤ

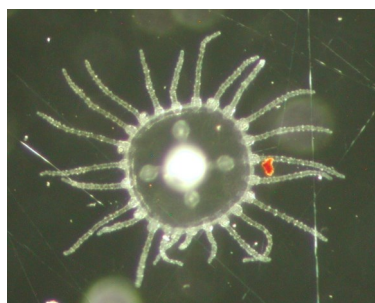


写真2 オベリア(クサ)のクラゲ(約1mm)

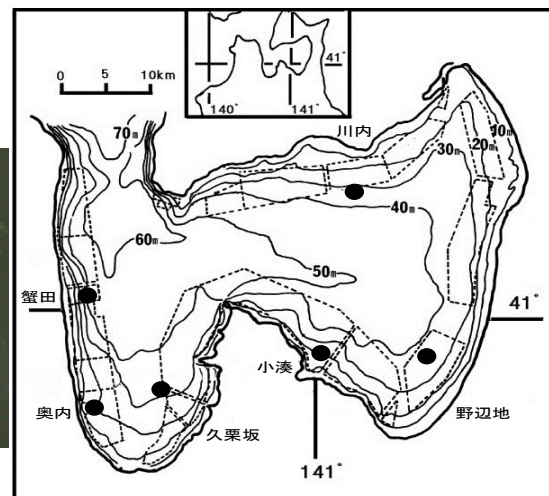


図3 ラーバ調査地点

